

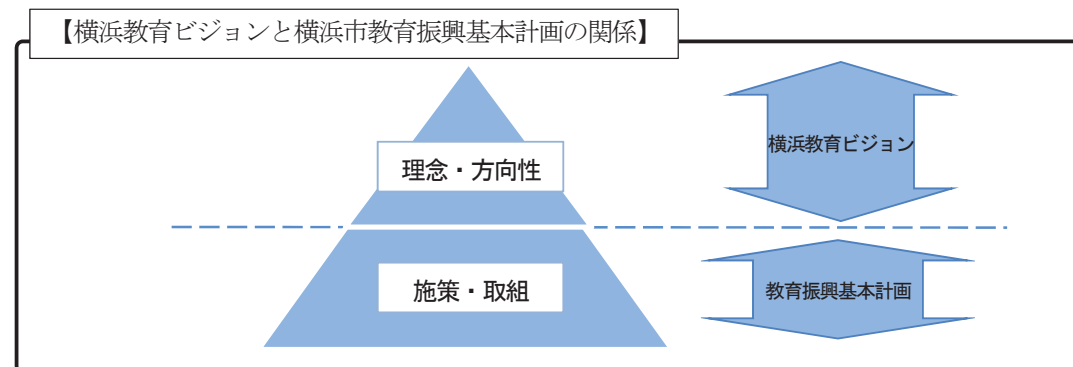
次期 横浜教育ビジョン（仮称）について

1 策定の理由・背景

教育委員会では、平成18年に、概ね10年を展望し横浜の教育が目指す姿を描いた「横浜教育ビジョン」を策定し、その実現に向けて取り組んできました。今年3月には国より学習指導要領が告示され、子どもたちが身に付けるべき資質や能力、学ぶべき内容等が示されました。こうした状況や「横浜教育ビジョン」策定から概ね10年が経過したことを踏まえ、今後10年を展望した「次期 横浜教育ビジョン（仮称）」を策定します。

2 策定にあたっての考え方

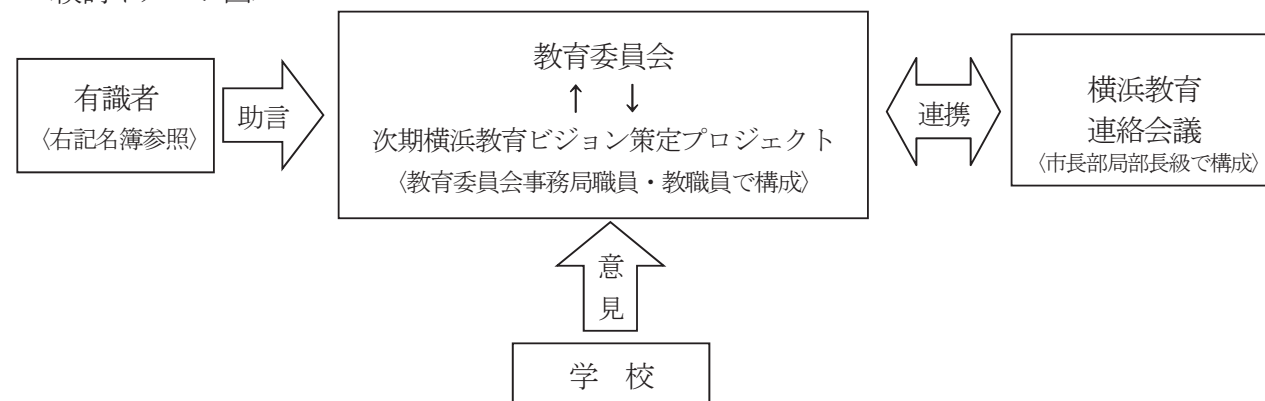
- 「次期 横浜教育ビジョン（仮称）」素案作成に向け、次の点を重視して議論しています。
- 横浜の教育が目指す人づくり、横浜の教育が育む力、横浜の教育の方向性を示します。
 - 小学校から高等学校段階までの教育を中心に描きます。
 - 各学校が「中期学校経営方針」等に「次期 横浜教育ビジョン（仮称）」を反映させ、子どもの成長段階や学校・地域の状況に応じて、目指す子ども像や教育の方向性を描けるよう、表現や構成を工夫します。
 - 「次期 横浜教育ビジョン（仮称）」策定後、第3期「横浜市教育振興基本計画」において具体的な施策や取組を示します。



3 検討方法

- 教育委員会事務局内に教育次長を筆頭とする策定プロジェクトを設け、教育委員会として検討を進めています。
- 学校現場の教職員の意見や外部有識者の助言、さらに横浜の教育をオール横浜で進めるため市長部局の意見もふまえ、検討します。

〈検討イメージ図〉



〈有識者名簿〉

氏名	現在の役職
安彦 忠彦	神奈川大学特別招聘教授
安藤 壽子	特定非営利活動法人らんぷあんぷらざ 理事長
木村 昌彦	横浜国立大学教育学部教授
工藤 啓	特定非営利活動法人育て上げネット理事長
佐々木 常夫	株式会社佐々木常夫マネージメント・リサーチ 代表取締役
福本 みちよ	東京学芸大学大学院 教育学研究科（教職大学院）准教授
藤田 晃之	筑波大学教授
古川 聡	宇宙航空研究開発機構 宇宙飛行士
堀 久美子	UBS証券株式会社 コミュニティアフェアーズ&ダイバーシティ エグゼクティブディレクター
森 祐美子	特定非営利活動法人こまちぶらす代表

4 今後のスケジュール

- ・平成29年 11月 : 教育委員会審議（素案（案）について）
- 11月 : 総合教育会議
- 12月中旬 : 常任委員会（素案説明）
- 12月～1月 : パブリックコメント実施
- ・平成30年 2月中旬 : 常任委員会（原案説明）
- 3月 : 策定・公表

【参考】 現「横浜教育ビジョン」について

○平成18年10月策定。横浜市基本構想（長期ビジョン）の都市像の実現に向け、「教育」が果たしている普遍的な役割に加え、横浜が目指す「人づくり」の観点から、横浜の子どもを育む上で大切にすべき三つの基本「知」「徳」「体」と二つの横浜らしさ「公」「開」を示しています。

- [1] 教育の使命
 - ・子供たちの確かな学力と豊かな心、健やかな体を育むこと
 - ・社会を担う者としての資質を身に付けた「市民」を育成すること
 - ・新たな挑戦をしていく姿勢、他者の幸せにも寄与しようとする姿勢を育むこと
- [2] 横浜が目指す人づくり
 - ・「市民力・創造力」を兼ね備えた未来を担う「市民」の育成
- [3] 学校教育において身に付ける力
 - ・3つの基本(知「幅広い知識と教養」・徳「豊かな情操と道徳心」・体「健やかな体」)
 - ・2つの横浜らしさ(公「公共心と社会参画意識」・開「国際社会に寄与する開かれた心」)

○横浜教育ビジョンの実現に向けた具体的な施策・取組は、「第2期横浜市教育振興基本計画」（計画期間 平成26年度～平成30年度）に示しています。